

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

(省令で定める基準単位数を満たす単位分科目のみ抜粋)

学校名：学校法人三幸学園 札幌医療秘書福祉& I T 専門学校

学科名：医療事務科

授業科目名	単位数
医療事務 A I	2
医学一般 I	2
合計	4

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	医療事務 A I		
必修選択	必修	(学則表記)	医療事務 A I		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	医療事務科	2	60
使用教材	①診療報酬点数早見表②カルテ問題集③薬価表④早見表 ⑤医療事務テキストⅠ・Ⅱ⑥検定過去問題集 ⑦窓口事務必携ハンドブック			出版社	①⑦医学通信社②～⑤ユアサポート ⑥全国医療事務教育協議会

科目の基礎情報②

授業のねらい	点数表を読み内容が理解でき、様々な算定に対応できる力を習得する 医療事務の仕事について理解する		
到達目標	医療事務の仕事について述べることができる 点数表を読みこみ、医科レセプトのポイントを述べるができる 医療事務検定 1 級が合格できる		
評価基準	テスト 70% AL 授業態度 20% 提出物 10%		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	医療事務検定 1・2 級		
関連科目	医療秘書総論ⅠⅡ・医療事務 AⅡ・BⅠⅡ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	柴田 美佐	実務経験	○
実務内容	診療所・病院（受付・会計・請求事務）		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 医療保険の種類	・医療事務とは（仕事内容、履修目的、年間授業計画、取得目標検定） ・保険証（社会保険・国民健康保険）の見方について
2	初診料・再診料（外来診療料） 医学管理、在宅医療	・複初、複再（複外診）含む概要について ・特定疾患療養管理料、薬剤情報提供料等について
3	投薬料	・薬価基準の見方、薬剤の種類、剤形と表示記号、薬価の計算方法について 投薬料の算定（内服・屯服・外用）、調剤料、処方料、調基、麻毒、処方箋料について
4	注射料	・注射手技料（筋注/静注/その他の注射）、特定保険医療材料、注射用水、 ビタミン剤の算定について

5	処置料	・ 処置概要、通則説明、簡単な処置、時間外等の加算、対称器官にかかる処置について
6	手術・麻酔	・ 手術料/麻酔料 通則説明、算定方法、対称器官手術、主従、手術に関連する処置・注射 年齢加算について
7	手術・麻酔・神経ブロック 輸血	・ 神経ブロック、輸血の算定、加算について
8	検査料	・ 検査料 通則説明 算定方法、検体/生体/病理、実施料、判断料、採取料、各種加算について
9	画像診断	・ 画像診断 通則説明、算定方法、単純撮影、造影剤撮影、特殊撮影、乳房撮影、 健側対比、C T、M R I、各種加算について
10	リハビリ・精神・放射線 入院料	・ リハビリ/精神/放射線 通則説明、算定方法、疾患別リハビリ、心身医学療法等について ・ 入院料 通則説明、入院基本料、加算、算定方法、外来と入院の違いについて
11	模擬対策	・ 検定試験に向けた対策
12	期末まとめ	・ 期末まとめの実施
13	検定対策	・ 検定試験に向けた対策
14	公費負担医療制度と法別番号	・ 公費負担医療制度の概要について（早期研修者のための理解）
15	公費負担医療制度と法別番号 総まとめ	・ 公費負担医療制度の概要について（早期研修者のための理解） ・ 総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	医学一般Ⅰ		
必修選択	必修	(学則表記)	医学一般Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療事務科	2	30
使用教材	からだのしくみ事典		出版社	成美堂出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	身体・臓器各部の名称とその働きを知り、一般内科・外科で取り扱う主な疾患についての症状、検査、治療の学びを通して、医療専門職として、医療事務の実践に役立つ知識を身につける。		
到達目標	疾患の理解は患者を理解する上で重要であることを念頭に、医療専門職として適切な対応が出来る。		
評価基準	テスト：50％ 小テスト：30％ 授業態度：20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	医療秘書技能検定		
関連科目	医療秘書総論Ⅰ・医療秘書総論Ⅱ・医療事務AⅠ・医療事務AⅡ・医療事務BⅠ・医療事務BⅡ・医学一般Ⅱ・ 医事業務実践ベーシックB		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	沼田 千晶	実務経験	○
実務内容	外来・外科病棟に6年、看護師として従事。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	2章 骨格	身体の区分と各部の名称全身の骨・筋肉を覚える
2	2章 骨格	全身の骨・筋肉のはたらきを覚える 骨・筋肉疾患と、検査、観血的・非観血的治療について理解する
3	8章 血液と循環器	血液成分と働き、略語を覚える 脾臓について学ぶ 免疫とアレルギーについて理解する 白血病について学ぶ 血液一般検査の基準値、異常値に関連する疾患について学ぶ
4	4章 呼吸器	呼吸器の構造と働きを学ぶ 気管支炎、気管支喘息、肺炎について学ぶ

5	8 章 血液と循環器	心臓・血管の構造と働き、体循環と肺循環について覚える バイタルサインについて学ぶ 循環器の主な検査を知る
6	8 章 血液と循環器	血圧と動脈硬化について理解する 虚血性心疾患、閉塞性動脈硬化症について学ぶ 不整脈について学ぶ
7	4 章 呼吸器	口腔～胃の構造と働きを学ぶ 逆流性食道炎、食道がんについて学ぶ ピロリ菌と胃疾患について学ぶ
8	9 章 消化器系	小腸の構造と働きを学ぶ 胆汁や膵液の流れや、消化酵素について学び、栄養の消化・吸収について理解する 腸炎について学ぶ
9	9 章 消化器系	大腸の構造と働きを学ぶ 虫垂炎、腹膜炎、イレウス、IBD 疾患、大腸がんについて学ぶ 下部消化管内視鏡検査について学ぶ
10	9 章 消化器系	肝臓の構造と働きについて学ぶ 胆嚢・胆汁の働きについて学ぶ 肝炎、肝硬変、肝がん、胆石・胆嚢炎について学ぶ
11	9 章 消化器系	膵臓の構造と働きを学ぶ 外分泌機能と内分泌機能について学ぶ 膵炎、糖尿病について学ぶ
12	9 章 消化器系	腎臓の構造と働きを学ぶ ネフローゼ症候群について学ぶ 腎不全と透析について理解する
13	6 章 泌尿器系	尿路の構造と働きを学ぶ 膀胱炎・腎盂腎炎、前立腺肥大について学ぶ 尿検査、導尿（一時的・持続）について学ぶ
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ